



『さあ、きつともっと鈴鹿。』で子育て 「すずっこまんなかプロジェクト！」

目標額
280万円程度



1 取組の概要

「すずっこまんなかプロジェクト」とは、本市の未来を担う子どもたちの健やかな育ちを確保するため、子どもや保護者の声に耳を傾け、その声を「まんなか」に、市のアクションにつなげる取組です。

本プロジェクトでは、子どもや保護者が相談できる場所や地域と関わる機会を確保することで、子育て世帯の声を反映しながら、地域社会全体で子育てを支える仕組みづくりや、妊娠・出産・子育てにおける途切れない支援を強化します。

子どもも保護者も地域の人も、「わくわくする」「未来に期待できる」、そんなアクションを展開し、鈴鹿での子育て環境をより良いものにしていきます。

2 寄附を活用させていただく内容

◆アクション①地域をつなげる(子育てイベントの実施)

地域の子育て支援団体等が参加する親子参加型のイベントや、子育てのコツを伝授する講座等を実施します。

◆アクション②情報をつなげる(広報・啓発の強化)

妊娠から成人(18歳)までの子育てに関する総合的な情報を掲載したリーフレットや、“つい手に取りたくなる”楽しめる子育て情報誌を配布します。

3 企業様のベネフィット

◆イベントやチラシ等における企業名の周知

◆イベントへの参加による地域との新たなパートナーシップ構築



【担当課】

子ども政策部 子ども政策課

☎059-382-7661 ✉kodomoseisaku@city.suzuka.lg.jp



障がい者の社会参加応援プロジェクト (音声化のための環境整備事業)

目標額
220万円程度



1 取組の概要

本市では、音訳ボランティアグループの協力により、希望者へ「声の広報すずか」を配付し、視覚障がい者の方が自治体の発信する情報を取得できるよう取り組んでいます。

現在使用している録音室の防音性が低く、作業に支障をきたしているため、録音環境を整備することで、行政情報を速やかに音声化し、障がい者の方の情報の取得利用を図り、社会参加を促進します。

2 寄附を活用させていただく内容

- ◆録音環境の整備
市の施設の一部にユニット型の録音室を設置します。

3 企業様のベネフィット

- ◆録音室の外側に企業名を掲示
- ◆音訳ボランティアグループのパンフレットに企業名を掲載



【担当課】

健康福祉部 障がい福祉課
☎059-382-7626 ✉shogaifukushi@city.suzuka.lg.jp



～「ろすのん」の笑顔が伝える ご飯の大切さ～ 子どもの食ロス削減事業 in 鈴鹿

目標額
200万円程度

4
質の高い教育を
みんなに

12
つくる責任
つかう責任

17
パートナーシップで
目標を達成しよう

1 取組の概要

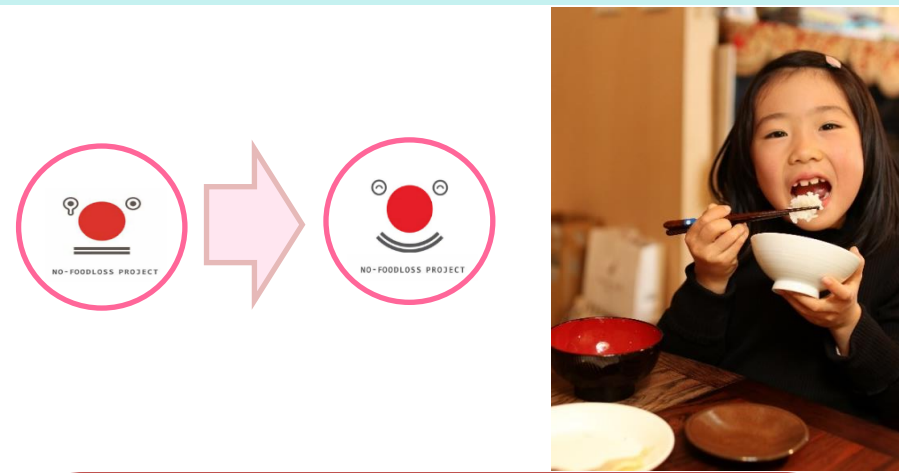
本市では、カーボンニュートラル社会の実現や循環型社会を構築するために、食品ロス削減に積極的に取り組んでおり、令和6年度から、新たに次年度から小学生になる「5歳の児童とその保護者」を対象に、「食品ロスの削減」を実践できる事業を実施します。
対象児童が、毎日の朝食、夕食を残さず食べ、食品ロスが発生しなかったらシールを貼り、30個シールを貼ることができたら、特製スプーン(メッセージカード付)を贈呈し、子どもたちに食の大切さへの意識付けを図ります。

2 寄附を活用させていただく内容

- ◆対象児童に配布する台紙と「ろすのん」シール
対象児童に台紙と「ろすのんシール」※を配布します。
※食品ロス削減国民運動のロゴマーク「ろすのん」を活用したシール
- ◆特製スプーン
市内の企業とタイアップし、「made in Suzuka」の特製スプーンを製作し(予定)、協力いただいた児童に贈呈します。
- ◆対象児童への御礼を明記したメッセージカード
小学校での給食で食品ロス削減を続けられるよう、応援メッセージを送ります。

3 企業様のベネフィット

台紙、メッセージカード、特製スプーンに企業名を入れ、食品ロスの削減を本市とともに積極的に支援している企業として宣伝できます。
特に、児童に配布する特製スプーンは日常的に使用され、児童及びその保護者が手に取り見る機会が多く、また、食品ロス削減の普及啓発時(市民向け広報や市内外でのイベント等)には、本市と連携する企業として発信されます。



～「ろすのん」の笑顔が伝える ご飯の大切さ～

朝食、夕食で食品ロスがなかったら、1枚シールを貼って、「ろすのん」を笑顔に変えてね!

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30

【担当課】
環境部 環境政策課
☎059-382-7954 ✉kankyoseisaku@city.suzuka.lg.jp



Ecoステーション ～処理困難物一斉収集の日～

目標額
800万円程度



1 取組の概要

ごみの適正処理の推進及び不法投棄対策を目的に、市で「処理困難物」として指定し、通常、市のごみ処理施設で受入れを行っていない「自動車用タイヤ」「消火器」「エンジンオイル」「プロパンガスボンベ」などを無償で回収するEcoステーションを実施します。

同時に、家電4品目(テレビ、エアコン、洗濯機、冷蔵庫・冷凍庫)の有料回収受付も実施し、購入から処分までの適切な過程を周知することで、市内全域における不法投棄の減少につなげます。

2 寄附を活用させていただく内容

◆Ecoステーションの実施

本市で処理できないごみとして指定している品目(一部)の無償回収及び処理を実施します。回収した処理困難物は、可能な限りリサイクルし、再資源化を推進します。

【対象品目】

消火器、自動車用タイヤ、プロパンガスボンベ、エンジンオイル、塗料

※一般廃棄物に該当するものを対象とし、事業系廃棄物は対象外

3 企業様のベネフィット

◆商品を購入した顧客への使用から廃棄、処分に至るまでの適切なプロセスの周知による、SDGsへの貢献

◆処理困難物処理後の顧客の新たな商品購買の機会提供



【担当課】

環境部 廃棄物対策課

☎059-382-7609 ✉haikibutsutaisaku@city.suzuka.lg.jp



「東西医学を融合した新しい薬膳」の普及 “おいしいYAKUZENであなたも健康に！”

目標額
5,000万円程度

3 すべての人に 健康と福祉を	8 働きがいも 経済成長も	11 住み続けられる まちづくりを	17 パートナーシップで 目標を達成しよう
-----------------------	---------------------	-------------------------	-----------------------------

1 取組の概要

「命は食にあり、食誤れば病たり、食正しければ病自ずと癒える」
薬を飲むことと食べることは同じとの考えのもと、食による健康のため、薬膳学会が関与する科学的根拠に基づいた本物の薬膳を普及し、

- (1)健康寿命の延伸
- (2)食育の推進
- (3)人材の育成
- (4)関係・交流人口の拡大につなげます。

2 寄附を活用させていただく内容

学官連携により、鈴鹿医療科学大学と日本薬膳学会の協力の元、大学に隣接する「桜の森公園」内へ、東洋の伝統医学に立脚した薬膳に、西洋医学における栄養学のエッセンスを加味した科学的根拠に基づいた新しい薬膳を提供する「飲食店」を整備し、食による健康を広めます。

薬膳の専門家集団で構成される日本薬膳学会が監修し、かつ科学的根拠に基づいた料理を提供する飲食店は唯一の存在となります。

3 企業様のベネフィット

- ◆飲食店内へ企業名の掲載。
- ◆薬膳の更なる普及に向けたプロジェクトの共同検討。



【担当課】

都市整備部 市街地整備課
☎059-382-9025 ✉shigaichisebi@city.suzuka.lg.jp



鈴鹿市雇用促進プロジェクト

目標額
120万円程度



1 取組の概要

次世代を担う若者を中心に女性やシニア、障がい者、外国人など年齢や性別、ライフステージに関わりなく求職者と企業をマッチングする取組です。

魅力あふれる市内企業の仕事内容や最新情報を伝え、優れた人材を市内企業への就職につなげるとともに、就労を希望するすべての人が能力を活かしながら活躍できる場の提供を進めていきます。

2 寄附を活用させていただく内容

◆企業見学バスツアーの開催

就職を希望するすべての求職者(新卒者、既卒者、転職者ほか)を対象に、バスに乗って市内企業(1回4社程度)の職場を見学

※見学を受け入れてくれる企業は別途募集します。

◆求人情報パンフレットの作成

求人情報サイト「鈴鹿deはたらこっ！」に掲載されている最新の求人及び企業情報をパンフレットにして、各種就職イベントにて配布

3 企業様のベネフィット

◆企業見学バスツアーの参加者募集チラシへの企業名の記載

◆求人情報パンフレットへの企業名の記載

企業見学バスツアー
【鈴鹿市】

3/10(日) 9:30~

定員 25人
対象者 就職を希望する方
見学先 ①製造業 ②食品 ③ものづくり産業 ④市役所
申込み切 3月1日(金)
申込み先 鈴鹿市産業振興部産業政策課へ
☎059-382-8698
E-mail:sangyoseisaku@city.suzuka.

▲バスツアーチラシのイメージ

【担当課】

産業振興部 産業政策課

☎059-382-8698 ✉sangyoseisaku@city.suzuka.lg.jp



ものづくり企業活性化プロジェクト (人材育成編)

目標額
40万円程度



1 取組の概要

ものづくり産業支援センターでは、4月初旬に市内中小製造企業の新入社員等を対象とした「ベーシック研修」を3日間実施しています。

ものづくり人材の人材不足が深刻化する中、人材育成研修の一環として、共通の仲間づくりを推進するような、「ベーシック研修プラス」を開催することで、若年層のものづくり企業への定着の一助になればと考えています。



【ベーシック研修の様子】

2 寄附を活用させていただく内容

◆「ベーシック研修プラス」の実施

「ベーシック研修」参加者に対し、近況や半年間のものづくりに携わってきた所感、良かったこと、悩み事などを共有する「ベーシック研修プラス」を実施し、研修参加者をフォローすることで、ものづくり企業への定着の一助に繋げていきます。



3 企業様のベネフィット

◆専用プロジェクターやモニターへの企業名記載・研修参加者への公表(参考:4月のベーシック研修参加者 14社35人)

【担当課】

産業振興部 産業政策課

☎059-382-7011 ✉sangyoseisaku@city.suzuka.lg.jp



～誰一人取り残さない、災害対応の実現に向けて～ 災害時多言語コールセンターの導入

目標額
13万円程度



1 取組の概要

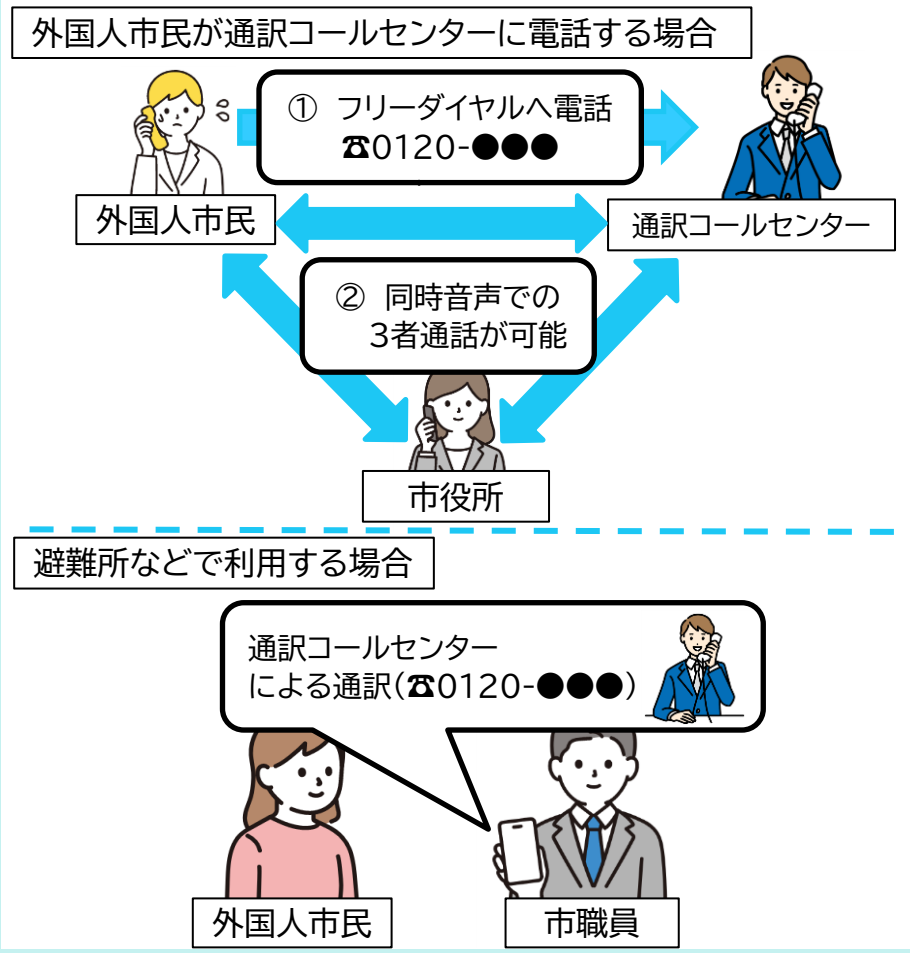
本市の外国人人口は、増加傾向にあり、令和5年6月末時点で9,425人(総人口の4.81%)に上っています。平時から通訳職員の配置や多言語通訳タブレット等の活用により、外国人市民へ日本人市民と差異のない行政サービスを提供しています。
多文化共生社会の更なる推進に向け、平時のみならず、今後発生が予想される南海トラフ地震や気象災害などの有事の際にも、外国人市民の多種多様なニーズに応えられるよう、市内各所、各窓口で「言葉の壁」を解消した母語での行政対応を実施します。

2 寄附を活用させていただく内容

◆災害時多言語コールセンターの導入
本事業の導入により、市の災害対策本部設置時に、市民、市職員問わずフリーダイヤルで利用できる三者電話通訳サービスが利用可能となります。
これにより、大地震のみならず、台風などの風水害時の避難所対応等、さまざまな場面でも多言語対応が可能となります。

3 企業様のベネフィット

- ◆SDGsへの貢献
 - ・外国人市民(従業員)のほぼ100%が、災害時に母語で行政相談可能
 - ・市内企業が安心して外国人材を受け入れることができ、技能実習生や特定技能を活用した人材不足解消に貢献
- ◆寄附企業名のPR
 - ・災害時の外国人対応窓口における企業PR
 - ・外国人市民向けFacebookページ「Amigo Suzuka」(フォロワー数計1,900名超)における企業PR



【担当課】

地域振興部 市民対話課
☎059-382-9058 ✉shimintaiwa@city.suzuka.lg.jp



すずか未来デザインLABO

目標額
120万円程度



1 取組の概要

人口減少が加速する中、人口を維持するためには、まちの将来を担う若者の流出を防ぐ必要があります。若者が住みたい、住み続けたいと思えるまちづくりを進めるため、本市に関わる若者と鈴鹿市の未来を描き、より良いまちにするためのアイデアを共創します。

本事業の実施により、若者世代の新たな発想から生まれたアイデアを市の政策の参考にするとともに、若者世代の学びの場や交流の機会を創出することで、人材育成や地域への定住、UJターンにつながると期待できます。

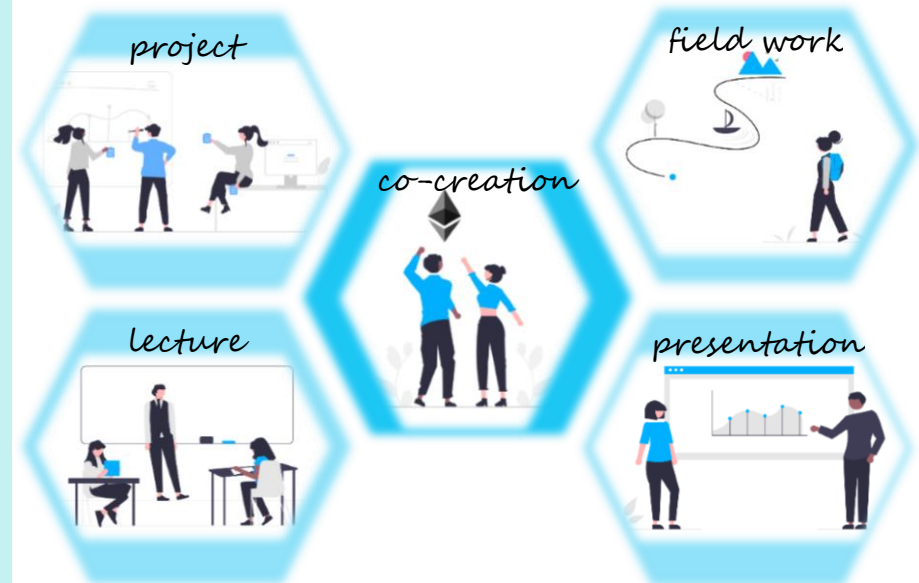
2 寄附を活用させていただく内容

- ◆まちづくりや地方創生に関心のある若者、同世代の仲間をつくり新しいことにチャレンジしたい若者を募集
- ◆グループに分かれ、ワークショップやフィールドワークを通じて鈴鹿の未来を描き、まちをより良くするためのアイデアを市職員と共創
- ◆各グループでまとめたアイデアを成果報告会で発表し、翌年度以降、実装が見込めるアイデアの事業化を検討

3 企業様のベネフィット

- ◆チラシ等への企業名の掲載
- ◆成果報告会への参加
- ◆更なる発展に向けたプロジェクトの共同検討

すずか未来デザインLABO



【担当課】

政策経営部 総合政策課
☎059-382-9038 ✉sogoseisaku@city.suzuka.lg.jp